

2023年8月1日

各位

会社名 株式会社 坪田ラボ
代表者名 代表取締役社長 坪田 一男
(コード番号：4890 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員管理本部長 清水 貴也
(TEL 03-6384-2866)

**(開示事項の経過) NEC パーソナルコンピュータ株式会社との特許等実施
・使用許諾契約締結について**

2023年7月18日付「NEC パーソナルコンピュータ株式会社との特許等実施・使用許諾契約締結について」において、株式会社坪田ラボ（東京都新宿区、以後「当社」）が NEC パーソナルコンピュータ株式会社（東京都千代田区、代表取締役執行役員社長 檜山太郎）に対して、当社が保有するバイオレットライトに関する知的財産権の実施・使用を許諾する契約（以下「本契約」という。）を締結することにつき、2023年7月14日開催の取締役会で決議した旨を適時開示しておりましたが、NEC パーソナルコンピュータ株式会社はこのライトを世界で初めて搭載したノートパソコンを、2023年8月3日より発売することとなりましたので、お知らせいたします。

■ **世界初のバイオレットライト LED 搭載ノートパソコンについて**

バイオレットライトは波長 360~400nm（ナノメートル）の紫色をした光です。当社代表取締役 CEO の坪田一男は 2017 年、当時率いていた慶應義塾大学医学部眼科学教室の研究チームとともに、このバイオレットライトに近視の進行を抑制する効果があることを世界に先駆けて発表しました。その後も坪田および当社と慶應義塾大学チームが中心となり、バイオレットライトのさまざまな機能の探索が進められており、現在では脳の血流を増加させることで認知症やうつ、パーキンソン病の改善効果も期待されています。

当社が世界で唯一保有するバイオレットライトに関する知的財産権の実施・使用を初めてパソコンの製造および販売において許諾したことを受けて、今回 NEC パーソナルコンピュータ株式会社が発売するノートパソコンは、バイオレットライト LED をディスプレイ上部に搭載し、波長 360~400nm のバイオレットライトを発光することができる、世界で初めてとなる機能を有しています。開発にあたっては、同グループとの協議に基づき、当社より関連知的財産および開発ノウハウを提供いたしました。

今回発売するノートパソコンは、NEC パーソナルコンピュータ株式会社「LAVIE」ブランドで発売します。詳細は、NEC パーソナルコンピュータ株式会社のプレスリリースを参照ください。

<https://www.nec-lavie.jp/common/release/ja/2308/0101.html>

■ サイエンスに基づく「機能性パソコン」の提案について

2018年、米国のコンタクトレンズブランド「ACUVUE」が発表した調査によると、同社の約2000人の従業員は平均年1700時間、1日約6.5時間をパソコンのディスプレイの前で過ごしているといえます(1)。日本におけるデータとしては2008年の厚生労働省のデータで(2)、4時間以上がおおよそ半数、6時間以上が25%程度となっており、近年のコロナ時代における在宅勤務にあたっては、この時間は劇的に増加していることが推察されます。このような長時間のVDT (Visual Display Terminals) 作業 (パソコンやスマートフォン、タブレットなどのディスプレイを用いた作業) は、眼への過負荷によってドライアイなどの原因になるだけでなく、姿勢の悪化やブルーライトによるサーカディアンリズム (概日リズム) の変動、睡眠の質の低下など健康にさまざまな負の影響をもたらします。

(1) <https://www.independent.co.uk/news/uk/home-news/office-workers-screen-headaches-a8459896.html>

(2) https://www.johas.go.jp/Portals/0/data0/sanpo/sanpo21/pdf/89_12-15.pdf

従来、その影響を防ぐには点眼薬を使う、ブルーライトカットレンズ付きの眼鏡を使うなどの対症的な手法か、根本的にVDT作業時間を減らすという方法しか対策はありませんでした。今回のバイオレットライトLED搭載ノートパソコンは、ディスプレイ上部からバイオレットライトを発光させることで、屋内ではカットされてしまう太陽光に含まれる光の波長を室内にもたらし、この波長が持つ、健康によい効果を生む可能性のあるパソコンとも捉えることができます。

このように積極的に健康増進、人体の機能改善に寄与できるデバイスを、当社は「機能性デバイス」と総称し、さらなる開発を進めていきたいと考えております。食品分野では、特定保健用食品 (トクホ) や機能性表示食品の制度があり、一定の科学的根拠のもとにその機能性が担保された製品が開発、販売されています。当社が考える「機能性デバイス」の概念もそれに類するもので、厳密なサイエンスに基づいて開発される従来にないデバイス、と捉えております。今後、さらなる「機能性デバイス」の考案、開発を進め、市場に投入していくことで、新たなイノベーションの形を創出してまいります。

■ 2024年3月期の当社業績に与える影響について

本契約ならびに本バイオレットライトLED搭載ノートパソコンの販売による2024年3月期の当社業績に与える影響は軽微ですが、今後の進捗につきましては必要に応じて開示いたします。

以上